

幸福実現 THE HAPPINESS REALIZATION NEWS NEWS

いのちを守り、
繁栄を実現する。

幸福実現党

公式HP hr-party.jp

2019年9月4日

特別号
(改訂版)

香港デモへの「弾圧」が激化

自衛隊を派遣して 香港の自由を守れ

「逃亡犯条例」改正案への抗議デモが続く香港で、警察の取り締まりが厳しさを増しています。自由を守るために戦う香港の人たちに、日本は何ができるのでしょうか。



無抵抗の市民を暴力的に制圧しようとする香港警察。(Guardian NewsのYou tubeより)

香港の民主化運動リーダーらの逮捕が相次いでいます。8月30日には、ジョシュア・ウオン(黄之鋒)氏とアグネス・チョウ(周庭)氏が、29日には香港民族党のアンディ・チャン(陳浩天)氏らが警察に拘束されました。黄氏と周氏は同日保釈されましたが、香港市民からは批判の声が上がっています。

逮捕を受け、幸福実現党は中国大使館前で緊急の抗議活動を行いました。その後、積量子党首は香港に飛び、デモの様子を視察。「日本のメディアでは、デモ隊が暴徒化しているなどと報じられていますが、大半の市民は極めて平和で理性的な抗議活動を行っていました。人民解放軍こそ香港に向けた武器を下ろすべきです」と語ります。

中国は、建国記念日である10月1日までに人民解放軍を動員し、デモ隊を「鎮圧」するのではないかとの憶測も高まっています。「第二の天安門事件」となるか、予断を許さない状況です。

デモを弾圧したい中国の本音

大川隆法・幸福実現党総裁は、9月3日、「習近平 vs. アグネス・チョウ—守護霊バトル—」を収録。香港情勢につい

て、中国の習近平国家主席と民主化運動の中心人物、アグネス氏の本音を探りました。

最初に登場した習氏の守護霊は、「10月1日までにはお掃除しておくようにという大まかな指示は出している」と、建国記念日までに香港デモを制圧したいという本音を暴露。「中国に歯向かったらどうなるかを見せつけたら、台湾の総統が誰になるかわかる」と述べ、香港の民主化運動が、来年の台湾総統選等に波及することを危惧しました。

さらには、香港や台湾の次に、日本、フィリピン、ベトナムなどを制圧したいとの本心も明かしました。

アグネス氏守護霊

「自衛隊を送って助けてほしい」

これに対し、アグネス氏の守護霊は「これだけ情報が通じ合っている時代に、ほかの国がどういうふうを考えているかが分からないのはかなり遅れている」と、他国の批判に耳を傾けず、恐怖で支配しようとする習氏のやり方を一蹴しました。現在の抗議デモが目指すところについては「できれば香港独立まで持っていきたい」と語りました。

アグネス氏の守護霊は、「われわれが死ぬことによって、周辺諸国や世界の国々が、基本的人権を護る、神を信じる民主主義が実際正しいんだということを確認できるなら、その死は無駄死にはないと思っています」と覚悟を口にし、日本への期待を次のように述べました。

「日本は、われわれの屍を乗り越えて国是を変えて、正しいものとは何かをはっきりと言える国になってください。できたら、自衛隊を送っていただきたい。邦人保護の名目で、自衛隊を送ってください。そしたらアメリカも動きますから」

「アメリカ、イギリス、日本が軍隊を送ってきたら戦い続けることは可能です。戦うべきは今だと私は思います」(アグネス氏守護霊)

香港の人々に日本がすべきこと

香港の自由が失われれば、中国は次に台湾、沖縄を狙います。その意味で、香港の人たちは命を賭して、日本の自由を守ってくれていると言えるでしょう。

安倍首相は、来春、習氏に国賓としての訪日を要請していますが、もってのほかです。中国の巨大市場に目がくらみ、最も大事な「自由、民主、信仰」の価値観を手放すべきではありません。

幸福実現党は、武装警察や人民解放軍によるデモ隊への弾圧が行われたなら、即座に経済制裁を実施すると共に、自衛隊法等の改正により自衛隊を香港に派遣すべきだと考えます。中国の覇権主義に対し、諸外国と共に毅然とした姿勢で臨むべきです。

NOW
PRINTING

「特別号」において紹介した霊言の内容は、『自由のために、戦うべきは今—習近平 vs. アグネス・チョウ 守護霊霊言—』として近日発刊予定。